

1. 調査報告概要表

作成日 平成 19年10月30日

【評価実施概要】

事業所番号	(評価機関で記入) 3 4 7 0 5 0 1 7 7 0
法人名	医療法人社団豊和会 豊田内科胃腸科
事業所名	グループホーム TOYO
所在地	呉市伏原2丁目7番22号 (電 話) 0823-21-0333
評価機関名	特定非営利活動法人 医療福祉近代化プロジェクト
所在地	広島市安佐北区口田南4丁目46 - 9
訪問調査日	平成19年10月25日

【情報提供票より】(19年9月15日記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 16 年 6 月 1 日
ユニット数	ユニット 利用定員数計 人
職員数	10 人 常勤 9 人, 非常勤 1 人, 常勤換算 9.5 人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨 造り 4 階建ての 2 階 ~ 3 階部分
------	-----------------------------

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	52,500 円	その他の経費(月額)	25,200 円	
敷 金	有(円)	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(409,500円) 無	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり	1,575		円

(4) 利用者の概要(9月15日現在)

利用者人数	18 名	男性	5 名	女性	13 名
要介護1	7 名	要介護2	7 名		
要介護3	4 名	要介護4	0 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 83 歳	最低	62 歳	最高	95 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	豊田内科胃腸科
---------	---------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

グループホームTOYOは母体である豊田内科胃腸科に併設され、グループホームとして穏やかな介護支援に加え、医療面の健康管理にもバックアップされた施設です。診療所代表医師は市内医師会長として地域医療に貢献され、近隣地域の住民の信頼を得られています。ホームは診療所開設以来従事されている看護師長が主になって運営管理され、地域の人々には十分に存在を認識され、親しみと協力を得られていることが受け取られた。入居者と介護職員は家族と同様な和気あい合いの会話が交わされている情景が再三伺えた。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回の評価で「ホーム便り」についての提案があり管理者職員合同で検討した結果、医療にバックアップされたホームであることを十分に取り入れた「ホーム便り」が作られ家族に届けられて、家族よりの厚い信頼を得られている。 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
重点項目	自己評価の項目毎に真剣に取り組まれ、今後一層の支援の充実進展に向かっての施設の姿勢が伺えた。
	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
重点項目	母体診療所が地域に密着した医院であるので、地域の各方面よりの理解があり運営推進会議で参考意見をよく出され助かっている。今後は隣街の民生委員にも声掛けする予定である。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
重点項目	「ホーム便り」を個人別に毎月1回おくる。内容はホームの出来事に加え1人ひとりの施設での様子を個々に記し、加えて診療所より健康面の状態のお知らせを附記して送っているので家族より好評である。
	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
重点項目	近隣地域より施設の存在は十分理解されているが、ビルの中に位置しているため、入居者が個人的に近隣とのふれあいをする機会が少ないので、地域の学校や公民館などとのふれあいが期待される。認知症についての理解や啓蒙にも活動されることが望まれる。

2. 調査報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「尊厳遵守、日々是新」の理念をもって入居者と介護者はゆったりとした時間を持ち、和気あいあいの雰囲気ですべてを過ごしている。		
	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎日の申し送りの時間に唱和し24時間(B勤)を担当する職員が当日のリーダーになり、ナースコールの携帯をもって其の日の運営の指揮を任されている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	母体の病院が地域に密着した医療を行っていることで其の影響もあり自治会長兼民生委員、老人会、地域包括などに声掛けが容易にされていて、近隣地域に受け入れられている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回の評価で「ホーム便り」についてアドバイスを受け、早速に職員で改善策が協議され「グループホーム便り」を毎月家族への送付が開始された。		特記 「グループホーム便り」は全体的な報告に加え1人ひとりの生活の様子を個々に記して伝え、下部には掛かりつけ医による健康状態のお知らせも加えられている。家族よりの感謝と信頼の言葉を得ていることを特記します。
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回の運営推進会議は地域の人々は積極的に参加しているが家族への参加要請は進められていない。入居者が近隣の方が多く家族感情に地域性が伺えるためである。次回は隣街の民生委員に出席を要請する予定である。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	民間委託されている地域包括との交流はあまり行われていないのが現状である。今後より進めた交流をもちたい。幼稚園や小学校への声掛けを計画している。		地域の学校や公民館との交流が期待される。
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	項目4で特記している「グループホーム便り」は家族よりの感謝と信頼を得られているのでより充実した内容を期待する。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	個人宛に便りをする事で家族よりの意見が容易に聞けるようになった。電話でも意見交換を度々行っている。		運営推進会議への家族の進んだ参加を期待したい。
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	2階3階とも同じメンバーの職員のローテーションで支援しているので入居者は職員の移動に殆んど気づいていない。新しい人には興味を示されることはあるので、移動のダメージは現状では見られない。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修へは順番で参加し、研修の内容はミーティングで伝え職員全員で共有するように努めている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者は同業者との交流の機会を特に定めていないが研修会等の機会に交流している。個人的に同業の友人を通しての情報交換は行っている。		同業者間の交流で情報交換の機会がより進められ、支援の向上が望まれる。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>ある入居者にはビールの小型缶を職員が家族の要請で預かり、呑まれる量を加減しながら提供したり、タバコは本数を決めてベランダで職員が付き添いながら喫煙してもらい禁煙に向かわせる等、入居者の以前からの性格や嗜好を十分に聞き取りをしてゆっくりとホームに馴染める努力がされている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>当日はカレーを入居者と共に調理する日に計画されていて料理好きの入居者が主体になって作られた。絵画が得意な入居者が職員を含めた数人の入居者に楽しそうに指導されていた。3時のおやつを散歩を兼ねながら、少し距離のある和菓子屋で買い求めることも等されている。</p>		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>近隣よりの認知の軽い入居者は近所に「ホームに居ることを知られたくない」方もあり、又地域の方々と進んで交流したいと望む方もありひとり1人の意向に沿うよう努めている。日々の好み確かめながら支援している。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>家族の意見要望を十分聞き取りし、管理者を中心に職員の意見を取り入れて介護計画書を作成している。</p>		<p>介護計画書に職員全員の確認のサインなどがあると(共有の認識が厚くなるので)効果的ではないかと提言する。</p>
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>ケアマネージャーを加えて3ヶ月に1度見直しを行い又変化が生じた時は其の都度カンファレンスを行って計画書を作成している。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	母体の診療所の協力で常に健康管理を行なっている。4階リハビリルームに同行し歩行や筋力のリハビリを楽しみながら行う入居者もある。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	殆どどの入居者のかかりつけ医が母体診療所であり、看護師長がグループホームの実質的な代表者であるため連携が行き届いている。他の医療機関とも常に連携が取れている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	家族と常に相談をしかかりつけ医への入院や不可能な場合は他の病院への転院もしてもらい支援している。院長が医師会長でもあり、連携がよく保たれている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	居室にトイレが備え付けてある為、失敗があっても他の入居者に知られること無く職員がさり気なくカバーできる。プライバシーは十分守られている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	1人ひとりゆったりとし、職員が優しく声掛けをして、やりたいことの汲み取りがされていた。当日は散歩を兼ねて近くの店へおやつや和菓子を数人で楽しそうに買い物に行かれる情景が見られた。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食材とメニューは大まかには母体病院と同じであるがその日のメニューを見たうえでグループホームに遭わない時はグループホームで買い揃えて調理する。主に3階の入居者が食事の準備を得意として職員と協力して行っている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日は月、水、金と一応決めている。午前も午後でも入浴できるが、自分の入浴時間を決めている入居者もあるので、それぞれ記録して次の時間の参考になっている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	絵を趣味としている入居者を中心に職員も輪の中に入って3～4人で絵を描かれている情景が見られた。外食を希望する入居者には職員が同行して一緒に楽しんでいる。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩、買い物、外食、ドライブ等希望に応じて支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室は自由に入出入りが出来るが、街中に位置し交通量が多いので、エレベーターは入居者が自由に操作できない。2階階段の入り口は施錠がないが、3階は施錠がある。		立地上の困難な状況はあるが、見守りの連携で施錠のない支援が求められる。
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	職員のみで、避難訓練は年2回行い消防署に報告をしているが、入居者と一緒には混乱の恐れがあるため行っていない。		消防署の指導を得られて入居者を交えての訓練が望まれる。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事については摂取量の把握は出来ているが、水分については記録されていない。		介護度の軽い入居者が多いので自室の冷蔵庫を使用される方もあるので特に水分量は把握しないとの説明がされた。
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ベランダには鉢植えの植物があり、ベランダ用テーブルセットが用意されて、外での飲食やおしゃべりを楽しめる入居者もある。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には使い慣れてタンスや椅子が持ち込まれ、部屋の飾り付けや置き方は入居者各々の好みにされている。		